

かつ電氣的安全性が確立された分娩監視システムを開発し、超音波ドプラー信号、胎児 PO_2 の連続的測定に成功したと発表した。

九大中野は超音波による分娩難易度の判定を行った。骨盤腔の超音波断面図を電算機処理によって、正常骨盤腔と難産、帝切例の比較をし判別基線をもうけた。これにより分娩経過予測が可能と思われ、X線写真によらない判定法として重要であると述べた。

国立精研成瀬は、ラットによる実験的早産や低蛋白栄養の胎仔を作り、これによる脳の蛋白合成障害について述べ、さらにケトン体利用や脳メッセンジャーRNA障害についても検討した。

(座長 岡山大武田)

岡山大武田は子宮内胎児栄養管理の上から、マルトスが種々な点で良好であると述べ、胎盤通過性の検討、各臓器への移行について検討していた。

鹿児島大、沖は新生児臍帯血中のACTH、全 corticosteroids 非蛋白結合 corticosteroids を測定し、ストレスに対する胎児の適応を検索して発表した。

東北大、星はラットを用いてWiggles worth の方法で実験的IUGRを作り、この胎仔が低酸素症に対する耐性の低下を確認し、更に糖代謝系との関連を追求していた。

名古屋市大、戸苅は妊娠への薬剤投与の児に対する影響を調べ、特に陣痛抑制剤として注目されているインドメサシンの児に対する影響として、IRDS様の症状を呈する症例を報告した。これは胎児に移行したインドメサシンがプロスタグランジン合成を抑制し肺高血圧症を惹起する危険性を示している。

以上のように各班員は、各演題毎に活発な意見の交換を行い、最後に日医大室岡より、分科会会長として出席の労をねぎらうと共に今後の研究発展と総括的意見が述べられた。

なお、東大神保、日医大越野から今後の事務連絡について打合わせが行われた。

昭和51年度厚生省胎児環境班流早死産の 成因と対策に関する研究 分科会報告

議 事 録

分科会長 滝 一郎

昭和51年度流早死産分科会はプログラムのごとく昭和52年2月5日、福岡市において開催された。昨年度まで本分科会は内容により血液血清部門、内分泌部門、病理部門、免疫部門の部門であったが、本年度からは新しく疫学部門が加り研究成果の発表が行われた。午前中に血液血清部門および内分泌部門の発表が終り、午後の発表に先立ち、分科会長および事務担当者から会計報告書、研究報告書についての説明があり、東京大学産婦人科から木川源則助教授が来会され、質疑に答えられるとともに2月19日の総会における準備事項、従来不備な点が多かった事項についての説明がなされた。午後からは病理、免疫、疫学の各部門についての発表が行なわれた。各部門は滝、竹内、飯塚、岡本、竹村の各サブテーマのチーフの司会により、熱心な討議がなされ、午後5時分科会を予定のごとく終了した。

胎児環境班昭和51年度流早死産分科会プログラム

場 所 : 福岡市博多区綱場町, 第一勸銀ビル内
三鷹ホール (TEL 092-271-3038)
日 時 : 昭和52年2月5日(土) 午前10時30分~午後5時

血液・血清部門

1. 羊水中LDH, amylase アイソザイムと異常妊娠
久永幸生(九大医短部), 藤田寿一(九大産婦)
2. CPC (coil planet centrifuge system) における25%溶血点について
郡征一朗(九大産婦), 久永幸生(九大医短部)
3. SP₁ と胎盤機能の相関について
荒川公秀, 浜田梯二, 久永幸生, 滝一郎(九大産婦)
4. Coil planet centrifuge の免疫血液学的応用, 臍帯血についての研究
大河内一雄, 清川博之(九大中検)
5. 流死産と赤血球内2, 3DPG
荒木 勤, 川崎尚和, 小宅正博(日医大第2, 産婦)

内分泌部門

6. 初期流産の予後判定について —スコア化の試み—
飯塚理八 小林俊文 中村幸男 田辺清男(慶大産婦)
7. 流早産時の血中ステロイドホルモン動態とその意義
高木繁夫 吉田孝雄 田 根 培 坂田寿衛(日大産婦)

病理部門

8. 死産胎盤についての病理学的検討
相馬広明 吉田啓治 又吉国雄(東京医大産婦) 岡本直正 宮原晋一 日高惟登(広大原医研)
9. 流早死産胎盤と卵膜の病理学的変化
相馬広明 吉田啓治 指田達郎 赤枝恒雄 向田利一(東京医大産婦)
10. CTGパターンと胎盤 の大きさとの相関についての研究
吉田浩介(自治医大産婦)
11. 流早死産の病理学的研究—腎の無発生及び發育不全について
岡本直正 佐藤幸男 日高惟登 宮原晋一 秋本尚孝(広大原医研)
12. 流早死産の病理学的研究—多発性のう胞腎について
岡本直正, 佐藤幸男 日高惟登 秋本尚孝(広大原医研)

免疫部門

13. マウス胎仔におよぼすneuraminidase の影響について
八神喜昭 鈴森謙次 高木 孝 中根茂雄(名市大産婦)
14. 精子及び肝蛋白(DNP)に対する能動免疫雌ラット子宮内における受精卵の發育状態
磯島晋三 鎌田敏雄 宮本敬子(兵庫医大産婦)

15. 父方組織適合抗原に対して感作された effector T cell によって起される流早死産
佐治文隆 中室嘉郎 倉智敬一(阪大産婦)
16. 妊娠と SP₁
樋口正臣 徳永昭輝 高橋 威 竹内正七(新潟大産婦)
17. ラット fetectomy による胎盤に及ぼす形態学的変化
小幡憲郎 半藤 保 広神俊彦 竹内正七(新潟大産婦)

疫学部門

18. 切迫流産の診断と予後について—最近4年間の成績から
浦上満男 山口 泰 竹村 喬(大阪通信)
19. 流早死産の疫学調査 その1.堺金岡地区の早産・死産について
竹村 喬 浦上満男 山口 泰(大阪通信) 土肥四郎 石橋武雄(堺金岡保健所)
近藤準子 名越民江(大阪府立白菊高校)

出席者名簿

氏 名	所 属	氏 名	所 属	氏 名	所 属
岡 本 直 正	広大原医研	鈴 森 謙 次	名 市 大	山 口 泰	大 阪 通 信
佐 藤 幸 男	同 上	中 室 嘉 郎	阪 大	大 河 内 一 雄	九 大 検 査 部
日 高 惟 登	同 上	佐 治 文 隆	同 上	清 川 博 之	同 上
秋 本 尚 孝	同 上	相 馬 広 明	東 京 医 大	滝 一 郎	九 大
磯 島 晋 三	兵 庫 医 大	吉 田 啓 治	同 上	荒 川 公 秀	同 上
鎌 田 敏 雄	同 上	指 田 達 郎	同 上	浜 田 梯 二	同 上
宮 本 敬 子	同 上	赤 枝 恒 雄	同 上	郡 征 一 郎	同 上
吉 田 孝 雄	日 大	向 田 利 一	同 上	山 名 寛 孝	同 上
田 根 培	同 上	豊 田 泰	同 上	片 瀬 高	同 上
飯 塚 理 八	慶 大	竹 内 正 七	新 潟 大	藤 田 寿 一	同 上
中 村 幸 雄	同 上	樋 口 正 臣	同 上	吉 田 茂 則	同 上
小 林 俊 文	同 上	高 橋 威	同 上	吉 田 真 一	同 上
田 辺 清 男	同 上	小 幡 憲 郎	同 上	宗 隆 夫	同 上
八 神 喜 昭	名 市 大	武 井 邦 彦	日 医 大 第 二	神 田 修 治	同 上
中 根 茂 雄	同 上	小 宅 正 博	同 上	小 柳 孝 司	同 上
高 木 孝 介	同 上	竹 村 喬	大 阪 通 信	久 永 幸 生	九 大 医 短 部
吉 田 浩 介	自 治 医 大	浦 上 満 男	同 上		